

特別講演

『西風を起こす』 - 産学官の連携による、ふくおか発展戦略 -

麻生 渡

(あそう わたる)

福岡県知事

経済がグローバル化し、アジア諸国の国際競争力が急速に高まるなか、地域が発展を遂げていくためには独自の産業政策が必要であり、知識集約型成長産業の育成が不可欠である。

福岡県では、産学官の力を結集しながら、システムLSI、自動車、バイオ、ナノテク、ロボット、そして水素エネルギーの6分野にわたる成長産業を育成している。本日は、本県の取り組みを紹介する。

1 「シリコンシーベルト福岡」プロジェクト

目的： 福岡県のLSI設計開発の知的・産業集積を核に、アジア(韓国、九州、台湾、シンガポール等)を結ぶ半導体生産のベルト地帯)におけるシステムLSI設計開発拠点を形成する。

中核組織： 福岡システムLSI設計拠点推進会議
(平成13年2月設立、会員数：企業、大学等211)

2 「北部九州自動車100万台生産拠点」プロジェクト

目的： 北部九州に、東アジアにおける自動車生産の一大拠点を構築する。

中核組織： 北部九州自動車100万台生産拠点推進会議
(平成15年2月設立、会員数：企業、団体等316)

3 「福岡水素エネルギー戦略」プロジェクト

目的： 水素利用技術に関する、研究開発、実証活動、人材育成等を推進し、環境にやさしい水素利用社会の実現を先導する。

中核組織： 福岡水素エネルギー戦略会議
(平成16年8月設立、会員数：企業、大学等221)